

第 12 回講演会が無事終了いたしました【御礼とご報告】

NPO 法人 QOL サポート研究会第 12 回講演会が皆様のおかげで、無事に終了いたしました。
たくさんの方にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。

開場から開演までの時間は、今年のお正月に tvk(テレビ神奈川)さんで放送された「かながわ ME-BYO
への挑戦～人生 100 歳時代を生きる～」の中で流れた第 11 回講演会の様子をご覧いただきました。

当日はデータマックスさんの取材が入りました。

総合司会 高尚子氏

京都産業大学 教授 大槻公一氏の開会の辞からはじまり、
QOL サポート研究会 理事長松本より活動報告。

第 1 部 講演会では、
司会を保健医療経営大学 保健医療経営学科 教授の織田慶子氏にお願い致しました。

講演1:片岡 洋祐 氏

(理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 細胞機能評価研究チーム チームリーダー)

「”こころ”を測って幸福度アップ」

はじめにストレスと疲労の違い、疲労が脳に及ぼす影響など、疲労について疫学的な調査、脳科学的な
解析についてお話されました。

これらの研究に基づいて開発された、こころの測定法を数値上で解説してくださいました。

現代はメンタルタフネスが必要との見解から、実地に測定されたこころの動きをデータで紹介され、
実測値のデータから演題である「“こころ”を測って幸福度がアップ」されることが理解できました。

私たちの日常の生活に取り入れ、改善すべきことを多く学ぶことができました。参加の皆さまから
「疲れをデータ化するアプリに期待する」等の意見をはじめ、凄く分かりやすい！と大変な好評でした。



講演2: 達 淳一 氏 (俳優・気象予報士)

「それもまた、相身互い」

はじめに幼い頃の経験の話され、それらの経験の積み重ねから生みだされた現在の仕事への意欲、人生観を熱く語られ、最後に自分が目指す頂点に至る道程を歩むなかで、障がいのある方達が前向きで自信を持って生き抜くために、自分もかかわっていきたいという思いを強調されました。参加者の皆さまからは達氏の人間的な魅力を褒め称えるコメントが多く寄せられました。講演後、達氏が指導された障がいのある方(7名)による殺陣の演舞「相身互い」が披露されました。演舞は大迫力で本格的なフォーメーションで演じられ、一生懸命な演者の方々の姿が参加者全員に深い感動を与えました。



緊張感漂う迫力の演舞

第2部 交流会では

北出聡美氏率いる、鍵盤ハーモニカ隊の演奏ではじまり、前回講演会で講師を務めてくださったボイストレーナーの野口千代子氏が乾杯のご挨拶をしてくださいました。

途中、「一滴の酸素」を、南友里氏が佐々木秀雄氏のバイオリン演奏と共に歌ってくださり鍵盤ハーモニカ隊の菱池氏との特別セッションもあり、講師の方たちを交え、情報交換など楽しく歓談しました。

最後に理事長の松本が皆さまへ御礼申し上げました。



交流会の様子



いつもパワフルな野口千代子氏



素敵な笑顔の南友里氏と佐々木秀雄氏



音楽の力を感じる鍵盤ハーモニカ隊の演奏



音楽家同士の突然のセッション!



理事長の松本よりご挨拶

皆さま、本当にご参加、ご協力、ありがとうございました。

また、皆さまの QOL を高めるお手伝いができますよう
私どももさらに勉強して参りますので、
今後ともどうぞよろしくお願い致します。